

「道で咲かせよう東北の花」プロジェクトとは？



連携イメージ



「道で咲かせよう東北の花」プロジェクト

とは、東北被災地の復興支援、

潤いある道路空間の創出及び東北と

東京の地域間交流を図ることを目的とした事業です。

主な活動としては、公社が東北被災3県(岩手・宮城・福島)の

連携自治体及び活動団体に園芸資材や種子を提供し、

東北で育てた花を都道や地域に定植しています。

年間を通じた活動

年間を通じた花プロの活動イメージ



活動の様子



●令和3年7月末現在、57団体が活動しています。

復興五輪版の実施について

復興五輪版とは、2020年東京大会の予選会場となる福島県営あづま球場周辺を花で彩り、おもてなしやこれまでの復興支援に対する感謝を表すための取り組みです。

令和3年7月に、福島県営あづま球場近くの円形花壇を岩手・宮城・福島県で育てた花で彩る定植イベントを実施しました。定植は、地域の小学生や住民の方によって行われ、大会への機運醸成を図りました。

広大な円形花壇に、約15,000株の花苗が定植されています。きれいに彩っておりますので、ぜひご覧ください。

